

対象年度		令和 7年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート									
事務事業名		障害者社会参加促進事業						予算事業名		障害者社会参加促進事業費			
予 算 科 目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	障害者総合支援法				
			03	01	03	3306	経常経費						
総合計画体系	みんなで支えあい 安心して暮らせる地域福祉を目指そう						事業の区分	主要事業					
	地域で支えあう福祉環境の充実						担当課係等	社会福祉課					
	障害者（児）福祉の充実							障害福祉係					
事業期間		継続 （平成18年度～ 年度）											
【めざす姿（意図・どのような状態になるのか）】							【事業開始のきっかけや他市の状況など】						
視覚・聴覚障害者の意思疎通支援を行う奉仕員養成等の間接的な支援、自動車免許取得費用及び自動車改造費助成による障害者本人に対する経済的負担軽減支援により、障害児者の日常生活及び社会生活の自立を目指し社会参加の機会増加を目的とする。							障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に定める地域生活支援事業の一事業として実施する。						
【手段（事業内容・どのようなことを行うのか）】							【対象（だれに対して・何に対して行うのか）】						
①奉仕員養成研究（手話・朗読） ②レクリエーション活動等支援 ③芸術文化活動振興（障害者作品展等支援） ④点字及び声の広報等発行 ⑤参加支援事業（R6年度より） ⑥自動車免許取得費用及び自動車改造費助成 ※①～⑤ 結城市社会福祉協議会に委託し実施する。							障害者（児）及びその支援者						
							【事業をとりまく環境の変化】 平成25年度より手話奉仕員養成研修事業が地域生活支援事業の市町村必須事業となった。 平成28年度より自動車改造費助成及び免許取得費助成事業が地域生活支援事業の補助対象から地方交付税措置となった。						
【令和 7年度 事業内容】				【令和 8年度 事業内容】				【令和 9年度 事業内容】					
事業を通して障害者の社会参加を促進する ①奉仕員養成研究（手話・朗読） ②レクリエーション活動等支援 ③芸術文化活動振興（障害者作品展等支援） ④点字及び声の広報等発行 ⑤参加支援事業 ⑥自動車免許取得費用、自動車改造費助成				事業を通して障害者の社会参加を促進する ①奉仕員養成研究（手話・朗読） ②レクリエーション活動等支援 ③芸術文化活動振興（障害者作品展等支援） ④点字及び声の広報等発行 ⑤参加支援事業 ⑥自動車免許取得費用、自動車改造費助成				事業を通して障害者の社会参加を促進する ①奉仕員養成研究（手話・朗読） ②レクリエーション活動等支援 ③芸術文化活動振興（障害者作品展等支援） ④点字及び声の広報等発行 ⑤参加支援事業 ⑥自動車免許取得費用、自動車改造費助成					
■事業費													
				R05年度		R06年度							
財源内訳	国庫支出金			275		935							
	県支出金			137		467							
	地方債			0		0							
	その他			0		0							
	一般財源			616		864							
歳入計（千円）				1,028		2,266							
歳出内訳	節（番号＋名称）				金額（千円）		金額（千円）						
	12 委託料				925		1,871						
	18 負担金補助及び交付金				3		195						
	19 扶助費				100		200						
歳出計（千円）（A）				1,028		2,266							
伸び率（％）						120.42							
備考	総合計画55ページ 予算書81ページ												

令和 5年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		R05年度	R06年度	R07年度
活動 指標	講座・サービスの開催・実施回数	回	目標	200.00	200.00	200.00
	手話講座・朗読講座・点字点訳サービス・朗読サービス等		実績	197.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	障害者社会参加促進事業参加者数（実人数）	人	目標	847.00	860.00	874.00
			実績	671.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	障害者をサポートするボランティアの育成や、自動車運転免許取得や自動車改造への助成は、障害者の社会参加を促進するために必要である。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	行政が実施する事業である。
	手段の妥当性	A 妥当である	事業を結城市社会福祉協議会へ委託し実施しているが、一般的な手段として妥当である。
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらとも言えない	結城市社会福祉協議会へ委託しコストや人員の効果が高まるよう努めているが、事業内容が固定化しているので、予算の範囲内で可能な工夫や改善を求めている。
公平性	受益者の偏り	B どちらとも言えない	自動車運転免許取得や自動車の改造は、要項に基づき対象者を身体障害者としている。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	事業の実施により、障害者等や家族の日常生活の充実や社会参加の促進が図られている。
進捗度	事業の進捗	B どちらとも言えない	結城市社会福祉協議会に事業を委託し実施しているが、事業内容が固定化しており、創意工夫が必要である。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
障害者のニーズに応じてコミュニケーションや情報提供等を支援することができた。手話・朗読奉仕員の養成講座を開催することにより、聴覚障害者・視覚障害者の意思疎通の間接的な支援をすることができた。自動車改造助成による経済的負担軽減支援により、社会参加への促進を図ることができた。結城市社会福祉協議会へ事業を委託し実施しているが、事業内容が固定化している。障害者のニーズや障害特性に配慮しながら、新たな工夫や企画に少しずつ組み替えていきたい。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
結城市社会福祉協議会へ事業を委託し実施しているが、例年、事業内容が固定化している。障害者のニーズや障害特性に配慮しながら、新たな工夫や企画に少しずつ組み替えていきます。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☒ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
方向性の具体的内容 障害者が行政に求めるニーズは、様々であることから障害特性に配慮した事業を展開していく。	
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり	